を祈願し、みんなの幸せを祈るためにペットボ若者たちが手づくりではじめた祭りです。豊作 力で続き、今回は12回目となりました。は「なんでも積極的にやろう」という人たちの トルで稲穂竿灯をつくり、神輿もつくる。 後よしかわやったれ祭りは吉川区に住 祭り を上げ、

・学生の絵入り稲穂竿灯、 初登場

学校では小学生のみなさんが総合学習の時間をです。今年も稲穂竿灯づくりは広がり、吉川小会場は上越市吉川区の中心部、原之町商店街 れました。 活用して絵入りの稲穂竿灯を初めてつくってく

祭りは午後からはじまりました。

ました。フクロウを彫っていたのは吉川区河沢私はまずチェンソーカービングを見に出かけ の江村康成さん、 チェンソー カー ングを

> 品と思ってよいくらいです。 始めてからまだ3年足らずですが、 木彫りのフクロウを見かけたら、 あちこちで引っ張りだこです。市内で2らまだ3年足らずですが、どんどん腕 江村さんの 作

い。最近流行している「天地人(あまちびれど、グループを育て、継続していく力もすごちが加わっています。踊りもたいしたものだけ と)」も披露されました。 ホームの祭り、酒祭りなどで活躍してくれて乱」というグループが日々練習を重ね、特別 ます。このグループには今年も新たな子どもた 次はよさこいソーラン。 吉川 一では 「百華 1

機ですよ」司会が投げかける勢いのある言葉で 暗くなって稲穂竿灯のロウソクに火がともる 写真はくじ引き、 中央舞台周辺はどんどん賑やかになり 「さあ、 今度は扇風

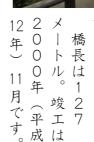
徒さんたちの手作り神輿でのひとつは吉川中学校の生た。今年、注目された神輿した。神輿の数も増えまし した。 な拍手が起きました。神輿書かれた神輿が通ると大き やったれ祭りにずっとかか を担いでいる人も見ている 人もうれしくなりました。 ったのは神輿です。 りがもっとも 「吉中 大人神輿と続きま 参上!」と 盛り上

シリーズ 上越市内の橋

47 回 島 田

川にかかった橋で、「島田橋」と書いて この橋の魅力は いて「しまだばし」と読みます。 旧上越市地域と板倉区をつなぎ 親柱。 沖 縄県宮古島産 の石

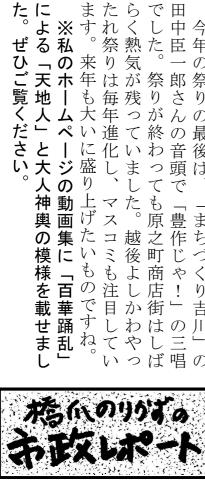
流が続いて のは、 す。長年にわたり このことが縁で宮 中村十作でした。 止に力を尽くした 宮古島の農民を苦 石で出来てい 古島とはいまも交 しめた人頭税の廃 板倉出身の ま





れが伝統になり、一、二年生が引き継いでい思い出になればと声をかけ、実現しました。 に、やったれ祭りを続けていきたい」とのべて でもらい、 てもらえればと思います。吉川を思い出し、 時期には帰省し、この祭りに参加して楽し い出になればと声をかけ、 は、卒業すると離れ離れになる三年生 M さ ん 吉川を誇りに思ってもらえるよう 吉中三年生の有志に ょ 0

たれ祭りは毎年進化し、マスコミも注目していらく熱気が残っていました。越後よしかわやっでした。祭りが終わっても原之町商店街はしば田中臣一郎さんの音頭で「豊作じゃ!」の三唱 今年の祭り ※私のホームページの動画集に「百華踊乱」 来年も大いに盛り上げたいものですね。 後 「まちづくり吉



1462 NO 2010.8.15

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法 548-3628 (有線) 4867 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp URL http://www.hose1.jp/